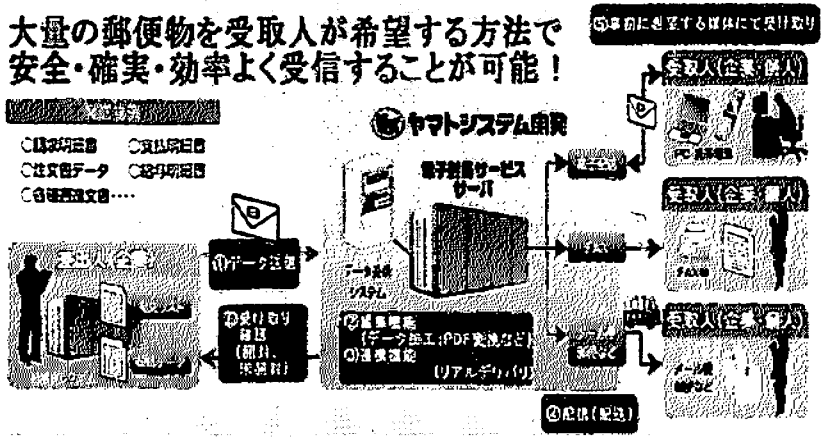
工業技術新聞　平成22年（2010年）10月20日　水曜日

希望する方法で安全・確実・効率よく配信
「電子封筒サービス」が話題
ヤマトシステム開発



電子封筒サービス

ヤマトシステム開発（東京都江東区東陽三―二三―二二・東陽ANビル、☎〇三―五六三三―五四一〇）は、九月九日・十日に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」で、「クロネコヤマトの情報デリバリと業務効率化」をテーマとしてセキュリティ確保、業務効率化、コスト削減を実現するサービスを紹介し、来場者より好評を博した。

同社は、宅急便やメール便に代表されるヤマトグループの宅急便システムを設計・開発し、三十年以上にわたって安定運用・維持管理を行っている。宅急便を支える確かなトレーシング技術を活かしたサービスを提供する。

その中で、「電子封筒サービス」が注目されている。これまで一律に印刷して郵送していた通知文書や重要データを、受取人が希望する方法（電子配信・FAX・配送）に合わせて自動的に振り分けて配信するサービスである。確実・安全かつ効率よく配信される。

取引先への支払明細など大量の郵便物を電子配信に置き換えることで、印刷・封入・封緘・発送などの作業負担を軽減。郵送や宅配便に比べて、送付に関わる費用の大幅な削減が可能。

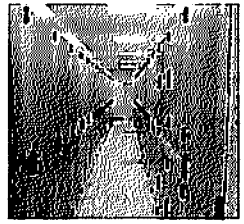
請求データなどを元にセンターで明細書を作成（PDF化）し、取引先の希望する媒体で自動配信する。到着まで時間短縮が可能となり、情報伝送のスピードアップが図れる。しかも、送付先の開封結果が分かるのである。運用管理者は、電子配信分の開封結果やFAX送信分の到着結果をweb上で確認できる。

セキュリティも万全。暗号化やパスワード機能により、データのセキュリティを確保。通信経路はSSLで、データファイルは3DESで暗号化されている。また自動処理により、手作業による作業ミス、配送事故、紛失盗難などの情報漏洩リスクを回避。トラッキング機能により送達確認も可能。

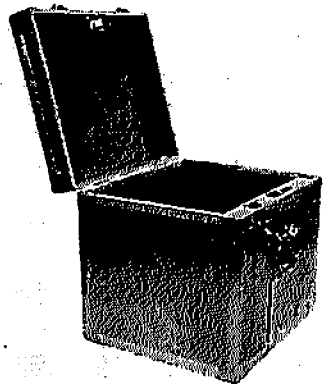
既に多数の企業で導入され、短期間でコスト削減と業務効率化の実績をあげている。例えば、レンタルのニッケンでは支払通知書の印刷費・送料と配信業務の見直しで年額約五四〇万円、率にして約七五％のコスト削減を実現したという。特別なアプリケーションをインストールせず、ブラウザがあればすぐに利用できることも魅力となっている。

他にも、セキュリティコアのIDC（データセンター）とトレーシング技術で、業務の効率化と安心安全に貢献するサービスをラインナップ。データセンターは、最新設備でハウジング・ホスティングサービスを提供する。

また、「e―ネコセキュリティBOX」は、配送相手の指定、配送中のBOX開閉ログの確認ができ、さらに受取人がBOXを開けた時点で開箱情報をメールで通知する、高セキュリティな配送用BOXサービスである。機密情報など重要荷物の配送に最適。



データセンターのサーバルーム



e―ネコセキュリティBOX